

発言者	内容
司会（会長）	国語科の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	新しい学習指導要領に沿ってよく練られている。児童の発達段階に応じて積み上げていくことができる構成である。1行ごとの間隔も適当で、使いやすい。
委員	使用するにあたり、教師の力量に左右されにくい仕上がりである。学習の見通しも立てやすく、よく考えられている。
委員	内容・レイアウト・色使いが見やすく、色彩もよいので扱いやすい。
委員	つかむ・取り組む・振り返る、の3段階の学習の課程がとてもわかりやすい。表記やレイアウトもよく、子どもたちが主体的に学べる教科書である。
司会（会長）	学校図書についていかがか。
委員	主体的・対話的な深い学びに向かわせる学習の工夫が見えにくい。緻密に学習を進めづらい。
委員	ばらばらな感じがする。レイアウトや配置が見にくい感じである。
委員	全体的に色使いは見やすい。
委員	「国語の鍵」はわかりやすい。説明文とは、で話し合い方などを掲載しており、後で振り返る時に便利である。まとめがすっきりしていてわかりやすい。1年生の教科書でも説明文について詳しく書かれているところがよい。初めて出会うことを大事にしている点はよい。
司会（会長）	教育出版についていかがか。
委員	「書く」内容が全学年で少なく、「読む」が多い。「書く」ことをもう少し重視すべきである。教師としては、書く内容が多いと時間がかかるので、少ないほうがよいが、あまりに「読む」ことに偏っているように感じる。文字の大きさ、レイアウトが適切で、とても見やすい。
委員	言葉の習得を重視している。言語活動の充実を図るために、ゲームなどの活動を入れて、興味を持たせるようにしている点が特徴的である。文化コーナーでは、古典・落語なども多く扱っている。言語重視というところがわかる。この形でよいのかという疑問は残る。

委員	文字の大きさやレイアウトがよく、読みやすい。
司会（会長）	光村図書については、いかがか。
委員	1年生の「大きなかぶ」で、かぶの絵の色が黄色であるのが気になる。
委員	見慣れない色刷りであるため、私も気になる。 他にも全学年の教科書のいろいろな場面での特徴的な色使いが目立った。
委員	生涯にわたり充実した読書生活を送る基盤となるよう、「本はともだち」を設定し、そのページを親しみやすいように色を変えるという工夫を凝らしている。
委員	6学年とも、よい教材を掲載しており、大変充実した仕上がりである。
委員	光村図書は、これまでと大きく変えようとする意図を強く感じる。細かすぎる学習の進め方を示しておらず、教師が主体的・対話的で深い学びつなげることができる。
委員	私たちの時代の教科書の感じがする。他の教科書会社とは明確に異なり、文学作品を大事する作り手の意図を感じる。
委員	今までより新しくなったよい印象がある。
司会（会長）	総括をする。
委員	東書と光村がよいと思われる。児童の系統的、発展的な学びを保障できるのはこの2社である。
司会（会長）	二つの中では、光村図書を第一に、東京書籍を第二に推薦する。